

# 令和3年度 堀越小の教育（グランドデザイン）



<目指す学校像> **子どもと教職員が、学校に来ることを楽しみに感じる学校**

## 【新潟県学校教育の重点】

### ◎主体的・対話的で深い学びの実現

《授業づくり》児童生徒が主体的に学習に取り組めるよう、すべての教科等で、見通し・振り返りの学習活動を取り入れるなど、「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくりに全校体制で取り組む。

《協働的な学び》学校ならではの学び合い、探究的な学び

《個別最適な学び》特性や進度、興味・関心に応じた学び

《指導と評価の一体化》目指す資質・能力が確実に育成されるよう、学習の過程や成果を的確に捉え、励まし、一緒に解決に向かうなど、教師の指導改善と児童生徒の学習改善に取り組む。

### ◎いじめをしない、許さない、命を大切にす意識の醸成

《特別活動》他者への理解を深め、集団や社会における人間関係をよりよく形成することができるよう、学級活動や児童会・生徒会活動での話し合いを大切にすなど、児童生徒主体の活動を推進する。

《道徳教育》思いやりをもち、自己や他者、社会にとってよりよい判断ができるよう、ねらいに即した多様な指導方法を取り入れるなど、「考え、議論する道徳」を推進する。

《人権教育、同和教育》新潟県人権教育基本方針のもと、差別を許さず、自他を大切にす行動ができるよう、「生きる」を活用するなど、同和教育を中核にした人権教育を推進する。

## 【教育目標】

- すすんで学習にはげむ子ども
- すすんで役割を果たす子ども
- すすんで心身を鍛える子ども

## 《重点目標》

- 進んで考え確かな学力を身に付ける子
- 思いやりの心をもち、自ら考えて行動する子
- めあてに向かってやり遂げようと努力する子

## 【阿賀野市学校教育の重点】

### 《基本理念》

ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育

### 《育てたい資質・能力》

自立：主体的に判断し、粘り強く問題解決に取り組む力

協働：多様な人々と対話し、問題を解決する力

創造：新しい価値を生み出す力

### 《学校教育の重点》

開かれた教育課程を編成し、地域とともにある学校づくりを進める

一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援

「生きる力」をはぐくむために育てたい資質・能力

「主体性・自尊感情」「言語能力」「課題発見・解決能力」「情報活用力」

## 確かな学力の定着

### <目指す子ども>

主体的・対話的に学びを深め、確かな学力を身に付ける子

### <取組の内容>

- 児童の意識に基づく課題設定、課題に正対したまとめ、学びを自覚する振り返りを工夫し、学ぶ楽しさを実感できる授業を行います。
- 思考力・判断力・表現力の向上を目指し、授業改善を進めます。
- 意欲的に家庭学習に取り組めるための工夫を継続します。

### 【目指す成果】

- \* 児童アンケートで「授業が分かる」と答える児童を90%以上にします。
- \* 算数のワークテストの正答率を、全学級で80%以上にします。
- \* 学年×10分の家庭学習に取り組む児童を90%以上にします。

## 豊かな心の育成

### <目指す子ども>

認め合い、支え合いながら、自ら考えて行動する子

### <取組の内容>

- 学級内や異学年の交流を推進し、コミュニケーションの力を育てながら、自尊感情を高めます。
- 様々な活動に、友だちや自分のよさに目を向ける場を取り入れます。

### 【目指す成果】

- \* 児童アンケートで「学校生活は楽しい」と答える児童を90%以上にします。
- \* 児童アンケートで「自分の良いところを見つけた」「友だちの良いところを見つけた」と答える児童を、いずれも90%以上にします。

## 健やかな体・体力向上増進

### <目指す子ども>

進んで健康づくりに取り組み、めあてに向かってやり遂げる子

### <取組の内容>

- 体を動かす機会を意図的・計画的に設け、体力を向上させます。
- 家庭と連携して生活習慣を見直す機会（元気アップ週間）を計画的に実施し、自分の健康を維持・増進する意識と、タイムマネジメント力を高めます。

### 【目指す成果】

- \* 「早寝・早起き・朝ごはん」を実践できる児童を90%以上にします。
- \* 「1日のメディア使用2時間以内」を守れる児童を80%以上にします。

### <特別支援教育の充実>

- ◆ 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の実現
- ◆ 個々の特性を理解できる子どもの育成
- ◆ 全職員がすべての子どもにかかわる全校体制の特別支援教育の推進

### <地域と連携した学校教育の充実>

- ◆ 学校評価への地域・保護者の参画（保護者アンケート、地域と学校の連携を推進する会での評価）
- ◆ 堀越シニア青年団、堀小サポーター等、地域ボランティアとの連携・協働（交通安全、校地校舎の環境整備等）
- ◆ 中学校区の小中連携や幼保連携による一貫した指導
- ◆ 学習活動への地域・保護者の参画（学習参観、学習支援ボランティア）
- ◆ 学校課題を協働して解決するPTA活動の推進

【キャリア教育】 自らのよさを生かし、多様な他者と協働しながら、夢や希望の実現に向けて粘り強く努力し、主体的に未来を切り拓く力の育成